

分野	基礎分野 一人間と生活、社会の理解	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	国語表現法 Japanese Expression	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	非常勤講師		
科目責任者			
授業概要	自分の考えを伝える手段として言葉がある。言葉には書き言葉と話し言葉があるが、学生は高校で学んでいても不適切な使い方をしている場合が多い。また、話し言葉には、敬語があるがそれについても同様である。本科目では、日本における表現について、言語・文章及び接遇の視点で学ばせる。日本語に対する理解力・表現力を身につけるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を学ぶ。		
目標	1. 日本語に対する理解力・表現力を身につけるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を磨く。 2. 日本語検定3級合格		
評価方法	終講試験、提出物		
使用テキスト	日本語検定中級テキストおよびステップアップ日本語講座 他、作成したプリント		
参考図書			
メッセージ	語彙力は一朝一夕には身につけません。日頃から本や新聞を読み、語彙を増やす努力を。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	言語活動の重要性	言語活動の重要性について理解する	あらためて日本語を学ぶ意義 言語活動（話す・聞く・書く・読む）の重要性 日本語の特徴、理解語彙と使用語彙 語彙力テストの実施	講義	
2	語と語の関係と熟語の成り立ち	語と語の関係（類義・対義他）・熟語の成り立ちについて理解する	語彙 語と語の関係（類義・対義他）、熟語の成り立ち	講義	
3	文法の理解	文法について理解する	語と語の結びつき 自動詞と他動詞、陳述の副詞 小テスト（類義語・対義語）	講義	
4	多義語の言い換え	多義語の言い換えについて理解する	言葉の意味 類義語の使い分け、言葉の多義性動	講義	
5	動詞の活用形と可能形	動詞の受け身・自発の表現・形容詞・助詞の使い方について理解する	文法 動詞の活用形と可能形 小テスト（語と語の関係）動詞の活用形	講義	
6	文の文法	文の文法、主語・述語・修飾語の語順について理解する	文法 使役、受け身、自発	講義	
7	言葉のかかり受け	言葉のかかり受けについて理解する	文の文法 主語、述語、修飾語の語順、語と語の係り受け	講義	
8	文章の要約①	文章の要約について理解する	文章の要約「ことばの科学」（練習） 接続詞と指示代名詞の使い方について	講義	
9	文章の要約②	接続詞と指示代名詞の使い方を理解し、要約作業ができる	文章の要約「ことばの科学」（実践）	講義	
10	文章の添削	要約した文章を基に、文章の成り立ちを理解する	自分で書いた文章を自分でなおす 文章の要約「男と女のナゾ」要約についての解説	講義	
11	論理的文章の書き方①	論理的文章の書き方について理解する	論理的文章の書き方 簡潔な文を書く	講義	

12	論理的文章の書き方②	現代仮名遣い・送り仮名などの日本語の表記について理解する	論理的文章の書き方 論旨展開のパターンを考える 接続詞と指示代名詞の使い方について	講義	
13	文章を書く①	日本語検定合格にむけたとりくみができる	文章を書く	講義	
14	文章を書く②	文章を書き加えたり、削ったりして改めなおすことができる	文章を書く（まとめ）	講義	
15		講義の内容の理解度について確認する	終講試験		